

広報

# なまきじん

1997 12 No. 265



村章

毎月1日発行

●今帰仁村の人口

男4,850人(+11) 女4,795人(+6) 計9,645人(+17)

世帯数 3,259戸(+13)

平成9年10月末現在

今帰仁御神



## 古宇利大橋着工記念

## 駅伝大会

夢の架け橋、古宇利大橋がいよいよ実現の運びとなり、その着工記念駅伝大会（古宇利郷友会主催）が十一月二十四日、県庁前（那覇市）スタート、運天港ゴールのえんえん一〇KM、三十四区間を古宇利郷友会の家族連れや関係者総勢百五十人程が喜びをかみしめながら快走、さわやかな汗を流した。

そして最後のランナーがゴールに飛び込んだ瞬間、運天港は拍手と歓声の渦に巻き込まれた。

### 今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれ
- 一、みんなでつくりよう うるお
- 一、自然と文化遺産を
- 一、みんなで育てよう のび
- 一、ゆく力と豊かな心
- 一、みんなであげよう 健康
- 一、みんなで築こう 平和で
- 一、明るい活力のある村を

# 「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

学対シリーズ(40)



兼次小六年 玉城 大輔

## ぼくと朝読み・夕読み

「あー朝読み・夕読みだ」と公民館の中に重い空気がただよっていきな朝読み、夕読みだ。順番は、かならず六年生からだ。いつも六年生からというのがとてもいやだ。ただでさえやりたくないのに……でもきまりだからしょうがない。悪いことがもつと重なり、子ども会長雄輝君に聞くと、ぼくがトップバッターらしい。

「今日に行きなさい」と、父が朝の六時前にそう言って起こしてくれた。でも、父が仕事に行くとき、「いやだ」という気持ちと、ぼくはねむいのでがまんできず、またねてしまった。「六時に起きれない。」と思いきや七時にセットした。目ざまし時計が鳴ったのはいいが、姉が先に止めてしまった。それで七時に起きるつもりが目覚めると、なんと八時前ではないか、朝読み・夕読みどころか学校にも間に合わない時間におどろいた。ぼくは、急いで洗面と

歯みがきをすませて登校のしたくをした。結局こんな感じで、朝読み・夕読みは参加できない心の弱いぼくだった。そして父が帰ると、「今朝は本読みに行ったか」とぼくに聞いた。バツの悪いぼくは少しもじししながら二・三回首を横にふった。すると父は真けんな顔でこう言った。「次はせつたい行きなさい。」ぼくは、父が真けんな顔で言った言葉に毎日がんばろうと思った。父にしかかれて自分に強くない聞かせた。だから次からはがんばって続けていきます。

六年生になってからは、朝読み・夕読みにかわって、家での本読みをしている。自分で考えて本読みを家庭学習にしているのだ。その成果が近ごろ出てきたのか本を読む時間も大きな声ですらすらと読めるようになってきた。ぼくは、いままで本をすらすら読めた

▼兼次中1年 島袋 一也



▲兼次中2年 兼次 愛奈



# 第15回 村文化祭 「道ジュネー」でカーリー付け

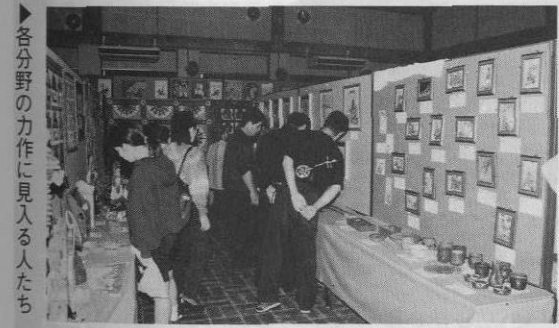
道ジュネー、華やかに目抜き通りを練り歩く



文化祭に新しく取り入れ、今帰仁中学校からコミュニティセンターまで、旗頭を先頭に艶やかな衣装をまとった行列がずらりと続いた。道ジュネーでは、仲宗根区の路次楽や棒術、今帰仁小と兼次小の児童たちによる子どもエイサー、村老人クラブのカチャーシー、村婦人会の踊りゆがふ今帰仁、いまじん太鼓の順で演技を繰り広げ、沿道を埋めつくした観客から盛んな声援が送られた。

「共に興々な、文化むら、今帰仁」をメインテーマに、今帰仁芸能、文化の祭典第十五回今帰仁村文化祭が十一月一、二の両日、村中央公民館を主会場に華やかに開催された。

文化祭は、多くの村民に作品発表の機会と鑑賞の場を提供し、生活文化の充実発展とむら興しに寄与することを目的に、例年行われ、村中央公民館では児童生徒の絵画や工作等の力作をはじめ、民芸品、盆栽、書道、写真、染色、生



花に至るまで多彩な作品が展示された。また二日目にコミュニティセンターで開かれた舞台発表では、一部と二部に分けてプログラムを進行、一部では村保母会手作りの舞台が演じられ、二部では野村流古典音楽で幕を開け、浜千鳥(仲宗根) あん小た(崎山) 亀の甲(仲尾次)、四ツ竹(湧川) など十五演目が披露された。さらに第十五回目を迎える今回は、各字の豊年祭で好評を得ている「道ジュネー」を

第三回小・中パネルフォーラム(村教育委員会主催)が、「楽しく、豊かな学校生活を築くために」をテーマに十月十八日、村コミュニティセンターに教育関係者、児童生徒ら、大勢の村民が参加して開催され、湧川中三年、野村優一君が提言を行った後パネルディスカッションに移り、各小・中学校のパネラーたちが意見を発表した。その中で「ごみのない仲原馬場をめざして」の主題で、今帰仁小児童会は活動を通して感じたことを次のように述べた。



## 自らの問題は自らの力で解決

### 小・中パネルフォーラム

ユーマアタつぷりのパネル発表

くりするほどのごみの量です。日々の清掃活動でいくらかきれいになります。もう少し、仲原馬場を利用する人や村民の一人ひとりが、ごみを落さない、自分のごみは持ち帰ることを心がけ、私たちが毎日ごみ拾いをしなくても、いつでもきれいな仲原馬場、いや今帰仁村であってほしいです」と環境の尊さを訴えた。

ことはあんまりなく、よくひっかかり自信がなかったの、すらすらと読める自分に気づいたときは、とてもうれしかった。

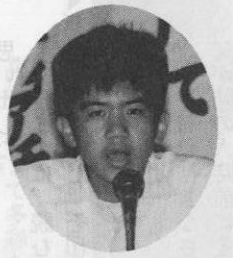
もあった。作文が苦手だったぼくは「これも本読みの成果かな」とびっくりする気持ちとうれしい気持ちでいっぱいになり、すわってこれまでのことを思い出した。ぼくは、トップバッターとしてみんなの前で読むことがいよいよ、か、発表できる自分を少しほこらしく思ってきた。

## 本読み続けてカつけ 光り輝け今帰仁っ子

兼次小六年 金城 生

「頑張れ。ゴールは目の前だ。」クラスの男生徒の必死の応援にこたえるように、かけ声に合わせて走るクラスの女生徒達。

### 第15回 青少年の主張大会



## 限界にチャレンジ

今帰仁中三年 富山 博憲

応援してました。ついにゴール「ただ今の記録は十三秒」と放送が流れました。「やったあ、学年で一位だ。」抱き合せて喜ぶ女生徒たち。感激で目をうるます担任の姿、僕はあの時味わった感動を決して忘れることはないでしょう。

それは五月二日の新入生歓迎レク大会のことでした。一見何でもない出来事ですが、僕たちを感動させたのはクラスのAさんの存在があったからです。普段の生活には支障はないのですが、彼女は極端に視力が弱く特に体育系の行事には消極的な方でした。今回の青海ガメに出るのもしぶっていたのです。そこをクラスの女生徒たちが「皆で楽しい思い出を作ろう」と励まし、ついにやる気を起こさせたのです。その日から空き時間を利用して練習する女生徒

のは大変なことです。そのため最初はコップでのみを飼うのです。のみは逃げようと跳びはねるのですが、かべにぶつかって何度も痛い目にあい、とうとう逃げることをあきらめてしまいました。調教師はその頃をみはからって芸を教えるというのでした。僕は去年「博憲が学級長になれ」というクラスのみんなの声におされて、学級長を引

き受けたものの学級をまとめることができなかつたという苦い経験がありました。だから三年にわたり担任や級友から「学級長になってくれ」という熱心なすすめがあつて引き受けはしたものの、やる気はまったく出でませんでした。去年のクラスは明るく活発な学級でしたが、話し合いで決められたことも力の強い者の勝手で変えられたり、僕が

れ以上努力しようとしなかつたのです。その時はまさにサーカスの、のみになつていたので。Aさんの努力と女生徒たちの団結で勝ち取った優勝は、僕に「一度や二度の失敗であきらめるな」という大切なことを教えてくれました。また、一カ月前、村出身で村の診療所に勤めている石川先生の話を聞く機会がありました。先生の話の中で特に

#### 特設人権相談所の開設についてお知らせ

|          |  |
|----------|--|
| 1. 日時    | 平成9年12月9日(火) 午後1時～4時                                     |
| 2. 場所    | 今帰仁村コミュニティセンター   |
| 3. 相談担当者 | 地元人権擁護委員 諸喜田スエ子<br>島袋輝志雄、諸喜田スエ子<br>那覇地方務局職員 山崎 司<br>総務係長 |

### 第19回 今帰仁郷友会大運動会 和気あいあい 交流を深める

スポーツを通して、会員相互の親睦と健康で幸せな家庭生活を培う目的で、今帰仁郷友会(連天政一会長)の「第十九回大運動会」が十月二十六日、神森中学校グラウンド(浦添市)で開かれた。

運動会には那覇近郊在住の村出身者をはじめ、地元からは助役、収入役、教育長、議員、区長など各字ごとにバスをチャーターして村民多数が詰め掛けた。

村を代表して大城勝助役が「競技を通して古里への絆を強くし、世代間の交流を深めながら今日一日和気あいあい楽しく過ごしましょう」と祝辞を述べた。



▲息がピッタリ親子二人三脚

競技種目も親睦大会にふさわしく、幼児・小学生のかけっこ、親子二人三脚リレー、輪回し競争、八百Mリレーなど各年代に分かれてのバラエティにとんだ種目に、老いも若きも一体となつて心地よい汗を流した。

また通過市町村の定められた地点(関門)を一位で通過した選手には、その市町村長賞が授与されるとあつて、今帰仁関門所でも選手たちの死

#### 今帰仁関門所トップ賞

| 種目              | 氏名    | 出身地 |
|-----------------|-------|-----|
| チャンピオンレース200km  | 行成 秀人 | 香川県 |
| 市民ロードレース200km   | 天笠 真志 | 奈良県 |
| 〃 50km          | 丸島 真改 | 千葉県 |
| レディースロードレース50km | 関家 朋子 | 〃   |
| 市民レディースロード50km  | 小濱 祐美 | 沖縄県 |
| 中学生ロードレース50km   | 佐藤 昇吾 | 大分県 |



▲あらっ、パーキがついでイモ堀り

### 老いも若きも元気はつらつ 老人婦人スポーツ大会

十一月九日、絶好のスポーツ日和の下、村内の老人、婦人が一堂に会する、第二十三回老人婦人スポーツ大会が村営グラウンドでにぎやかに開催された。

大会は午前十時から開会式が行われ、山内晴子村婦人会長を先頭に選手役員が入場、稲福健一さんと大城昭子さんが力強く選手宣誓した後、競技を開始、老人・小学生の玉

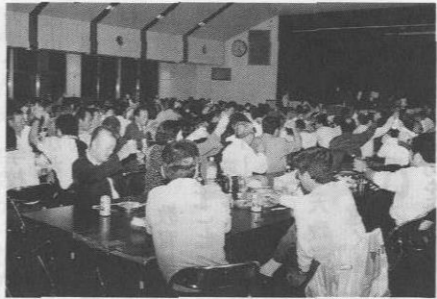
「熱帯の花となれ、風となれ」をキャッチフレーズに、サイクルスポーツの祭典ツールド・おきなわ97が十一月九日、名護市民会館前をスタートゴール地点に午前七時、チャンピオン二〇〇キロ、市民ロード二〇〇キロ、レ

力を尽くした激しいデットヒートが繰り広げられ、朝早くから沿道に繰り出した大勢の村民から熱い声援が送られた。なお今帰仁関門所をトップで通過した選手は次のとおり。



▲力強く走るサイクリストたち

### 第10回 村親善チャリティーゴルフ大会 親睦を深め 収益金で人材育成



▲お疲れ様でした。それでは乾杯

十一月十日早朝、大雨にまわれ大会が危ぶまれた村主催による第十回親善チャリティーゴルフ大会も「雨降って地固まる」の言葉通り澄みきった青空の下、嵐山ゴルフ倶楽部（パー72）にゴルフファーム勢二百二十九人（六十一パーティ）が参加して開催された。

当日は沖永良部の知名町役場からも十数人のゴルフファームが出席し、今帰仁との交流を深めた。

大会終了後の懇親会で上間博安大会長は「二十一世紀を担う人材の育成に、今後とも皆様のご協力をお願いします」とあいさつ、本大会の収益金は村育英会に贈られることになっており、同会ではこれからも経済的理由により就学が困難な人に育英資金を貸し出し、社会に貢献する人材の育成に役立てることにしている。

大会には多くの方々から商品等の寄贈があった。なお上位入賞者は次のとおり。

#### 上位入賞者

|      |        | (グロス) | (ハンディ) | (ネット) |
|------|--------|-------|--------|-------|
| 優勝   | 伊野波盛隆  | 84    | 14.4   | 69.6  |
| 2位   | 小渡智矢   | 95    | 25.2   | 69.8  |
| 3位   | 運天政徹   | 86    | 15.6   | 70.4  |
| ベスト  | グロス    |       |        |       |
| 男子   | 当間 稔   | 71    |        |       |
| 女子   | 高良 初江  | 84    |        |       |
| 団体優勝 | 呉我山チーム |       |        |       |

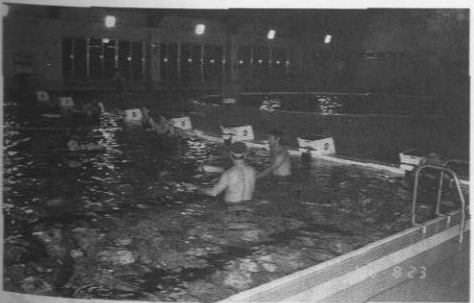
今年で創立五十周年を迎えた今帰仁中学校の資金造成チャリティーゴルフ大会が、十一月一日から八日までの八日間、本部町古島の本部グリーンパークで約九百人の参加者を集め、行われた。大会には宮城康吉期成会々

### 創立五十周年で資金造成ゴルフ 今帰仁中学校

長、渡慶次道孝実行委員長をはじめ委員が万全を期して臨み、その結果、約二百万円余りの資金を集めた。また多くの方々から商品等の寄贈があり、今帰仁中学校創立五十周年に寄せる同窓生の皆様の深い母校愛を感じた。

### 冬でも泳げる温水プールがオープン

#### 村民の運動不足解消



▲練習に余念がないスイマーたち

#### 温水プールの使用料

| 種類   | 使用区分 | 時間  | 使用料  |      |
|------|------|-----|------|------|
|      |      |     | 村内   | 村外   |
| 個人使用 | 大人   | 2時間 | 300円 | 500円 |
|      | 高校生  | 〃   | 250円 | 400円 |
|      | 小中学生 | 〃   | 200円 | 300円 |
|      | 幼児   | 〃   | 100円 | 200円 |



▶五十周年に役立てて下さい

### 村婦人会沖永良部(知名町)を行く

#### 思いは一つ、兄弟国を再確認



▲交流会で兄弟の絆を強める

十月二十四、二十五の両日、村婦人会(山内晴子会長)一行二十九人は、知名町婦人会との交流のため一路沖永良部へと出発した。

当日は、台風接近のため雲行きはあやしく白波の立つ本郷新港で、いささか不安な気持ちの中フェリーあけぼのを待った。案の定、関係者より「本日は強風のため和泊港に着岸できず、徳之島まで行くかもわかりません。あらかじめご了承下さい。」というアナウンスがあった。「大変なことになった」「ええーどうする」と口々に嘆息が聞こえ、

心配そうな婦人会員たち。

でも、知名町婦人会との交流はしたい。思いを募らせている間にフェリーあけぼのが目の前に姿を現した。「よし運を天に任せよう」とみんなは黙って船に乗り込み、昼食時には船員の励ましもあった。明るい表情で気の合った仲間同士えんえんと話が弾んだ。そして、船長より「伊延港(沖永良部)に着岸することになりました。」とのアナウンスがあり、みんなほっと胸をなでおろした。港では知名町婦人会、行政の方々も横断幕を大きく広げて出迎え、そのときはじめて兄弟国にきたとの親近感にひたった。

その後、専用車二台に分乗して名所旧跡を観光。沖繩の自然、風景、やんばる辺戸岬との共通点など、特に「世之文墓」(北山王の次男)を参拝したときは、北山王の配下にあった



▲両婦人会そろって記念撮影

歴史の重みを感じ、目頭が熱くなった。

交流会は、知名町中央公民館に婦人会員をはじめ、多数の関係者が出席して開かれ、しぶい汁と数々の手作り料理が振る舞われた。そして踊りやおしゃべりに時の経つのも忘れ、楽しいひとときを過ごした。兄弟国(今帰仁)に思いを馳せる知名町の皆さんと心をつなぐとともに、両国の交流がいつまでも続くことを祈りたい。

### 平和祈願祭

#### 戦争を風化させず 後輩に伝えていく

戦争による惨禍が再び起こることがないよう「どうか安らかに...そしてこの平和がいつまでも続きますように」と思いを込めてあわせられた両手に、五十余年の時の流れを感じた。

その後、参列者一人ひとりが、御霊を慰め焼香した。

平成九年村平和祈願祭(今帰仁村・村遺族会主催)が十月二十四日、百二十余人の参列のもと、村慰霊塔前でしめやかに行われた。参列者全員で黙とうを捧げた後、上間博安村長は「戦争の傷跡の深さと二度と戦争を起こしてはならないこと



▶この平和がいつまでも続きますように!

# 集団登校と仲宗根の旧市場付近

今回紹介する写真は昭和四十年頃の仲宗根の小学生の集団登校の様子である。場所は北部製糖工場の前の通りである。集団登校は今帰仁小学校だけでなく、各学校行なわれていたのではないだろうか。別に集まり、さらに字全体で集まって登校する方式である。旗に今帰仁小学校と1班や2班などの班の名前が記され、班旗のもとに集まって登校する。どのような目的で行なわれたか定かではないが、協力してみんなが事故や遅刻をなくすことをねらいとしていたのだろう。集団登校はそう長くは続かなかったよ



▲集団登校をする仲宗根の生徒たち（昭和40年）

うに思う。昭和三十年代の今帰仁村の人口は一万三千人余りで子供たちの数が多い頃である。写真の生徒のほとんどが長袖、そして巡査の制服から冬であることが分かる。生徒たちの表情からすると寒い朝のようである。道路には白いコーラが敷かれ、人は左側通行の時代である。下の写真は、仲宗根の市場



▲旧市場付近の広場でラジオ体操（昭和30年代後半）

付近の広場で、昭和三十年代後半である。大正七年に寒水村にあった市場が村営となり仲宗根に移されると、マチヤグワ（小さな店）が並びマチと化していった。昭和五年頃、一帯は「大井川町の中枢部をなし、商店の殆どは此処にあり旅館、自動車発着所、湯屋、料理屋の全部に郵便局、質屋、歯医、牛乳屋、理髪屋、其の他に密集し」（今帰仁大

井町の地理的研究」仲松弥秀著）ていたという。戦後もマチが形成され、戦前の市場の雰囲気は僅かながらも残っている。

写真の「かずのり屋」は肉屋、「喜屋武商店」はセトモノ・家庭用品などを売っていた。左側にある赤瓦の建物は「大井川消防組」の「唧筒格納庫」で（大正十三年建設）、梯子・バケツ・トビグチ・手押しポンプが配備ポンプや消防車（ジープ）が置かれ使われていた。仲宗根がマチとして発展し、商店や民家などが増えたため消防団が必要になったのだろう。後方の煙突はパイン工場である。

夏休みだろうか。小学生や中学生（白線のはいった帽子をかぶった生徒）、そして大人たちを含めて二十数人が旧市場付近の広場で朝のラジオ体操をしている。夏休みの朝のラジオ体操は、普通子供たちだけのものであるが、ここでは父母の姿が見えほほえましく映る。マチの活気は旧市場付近から、現在次第に周辺部へ移ってきている。

仲原 弘 哲  
（歴史文化センター）

# 秋季全国火災予防運動

## 消防団員四〇〇人が参加

平成九年度秋季全国火災予防運動が十一月九日、「つけた火はちゃんと消すまで



▲服装の点検を行う上間村長ら

あなたの火」の全国統一標語のもと、コミュニティセンター横広場に村内消防団四〇〇人が参加し、非常召集及び特別点検が実施された。

上間博安村長は「今後さらにあらゆる災害に備えて、消防力の強化と消防装備の充実を図っていきたい」と訓辞を述べ、消防団員を激励した。その後、上間博安村長、大城勝助役、仲里吉徳収入役によって、各字ごとに二列横隊で整列した消防団員の服装点検が行われた。

# 本番さながらの火災避難訓練を実施 天底小



▲避難訓練を見守る生徒たち

秋季全国火災予防運動の一環として、火災が発生したとき、職員が児童を安全かつ確実に避難させる能力を身につけさせようと、本部町今帰仁村消防組合（大城盛彦消防長）は十一月十一日、天底小学校（仲本光夫校長、全校生徒二百七十七人）で火災避難訓練を実施した。

避難訓練は全校生徒が見守る中、二階教室より出火、先生、生徒二人が校舎の屋上で助けを求めているとの想定で行われ、けたたましいサイレンの音とともに、消防車、救急車が火災現場に急行、一斉に放水開始、消防車から屋上にロープを展張しバスケットタンカにより一人ずつ救出、

本番さながらの消火、救助活動に場内からため息がもれた。

その後行われた消火体験学習では、消防団員の指導のもと想定された火災を先生が手際よく消火にあたり、また煙体験コーナーでは、ハンカチやタオルなどで口を押さえ、低い姿勢で脱出する生徒たちの様子はまさに真剣そのものであった。

講評で仲程光信予防課長が「マッチ一本でも非常に大きな火事になり、家や人の命を奪ってしまう、火事はほんとうに怖いものです」と話し、火災の発生防止を呼び掛け

# 第18回

## 今帰仁城跡調査研究整備委員会

### 「世界遺産」を目指し 着々と整備

十四世紀の三山の一角を形成し、規模的にも首里城に匹敵する面積を有する今帰仁城跡の環境整備および調査研究等の事業を適正に実施する目的で、村教育委員会（大城藤夫教育長）主催による第十八回今帰仁城跡調査研究整備委員会が十月二十七日、ロイヤルビューホテルに委員をはじめ関係者が出席して開催された。

主催者を代表して大城藤夫

教育長は「委員のみなさんの心温まるご指導により、城跡整備も着々と進められていきます」とあいさつ。続いて、今帰仁城跡調査研究整備委員会（坪井清足委員長）は「問題はたくさんあるけれども、世界に名を馳せた遺跡として認められるように、みなさんの協力と指導が必要です」と話し、意欲をもやした。

その後、山内昌治文化財係長が事業の概要説明を行い、議事が進められた。その中で議題三号は平成十年から十四年まで五年間の整備計画（案）を作成、城跡の復元整備について審議された。



▲城跡の整備計画を審議する委員のみなさん

# いっしょに走ろう!さわやかな汗を流そう! 第20回 新春ロードレース

恒例になりました新春ロードレースが1月2日(金)村運動公園をスタート、ゴールに開催されます。村民のみならず新年の誓いを新たに、さわやかな汗を流してみたい方が多か

○日時 平成10年1月2日(金) 午前8時受付・9時開会式、10時スタート

○場所 村運動公園ホッケー場

○申し込み先 村体育協会事務局 ☎56-2101(役場内、内線24)

○参加料 小中高生 300円・一般 500円(保険料含む)

○受付期限 平成9年12月15日(月)午後5時(参加料持参をお願いします)

- (1) 小学生 男女1KM(3~4年生)
- (2) 中学生 男子3KM・女子2KM
- (3) 一般(高校生含む) 男子10KM 女子3KM
- (4) 30代 5KM
- (5) 40代 3KM
- (6) 50代 3KM



## 成人式 —平成10年1月4日—

平成9年度の今帰仁村成人式式典を平成10年1月4日(日)に村コミュニティセンターで行います。式典のご案内は、今帰仁村に住所を登録されている新成人の方に通知することになっています。村出身者で現在村外にお住まいの方も参加できます。

式典に参加を希望される方は12月20日までに教育委員会社会教育課に①氏名②生年月日③村在住時の住所④現住所を連絡の上お申し込み下さい。電話でも受け付けます。

電話 0980(56)2645・2647

お知らせ

### ※不燃物処理場の変更について

ごみ処理・粗大ごみ処理施設の完成に伴い不燃物については、乙羽山の処理場より本部町・今帰仁村清掃組合の処理施設に変更になりましたので村民のご協力をお願いします。

村役場保健予防課

### ※ごみ処理施設稼働に伴う業務の一部変更について

平成7年度より建設中でありましたごみ処理・粗大ごみ処理施設がこのほど完成し、近々本格的に稼働致します。それに伴い業務の一部を下記のとおり変更しますので、住民の皆様のご協力をお願い致します。

ごみ受入時間 午前9時から午後5時まで  
ごみ受入期間 1月1日~3日までの期間と毎週日曜日は閉庁

本部町・今帰仁村清掃組合

お知らせ

い寄せ

### 年末年始のごみ収集業務について

年末年始のごみの収集業務について次のとおりお知らせします。村民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

- ◎業務休業 平成10年1月1日(木)~4日(日)
- ◎業務開始 5日(月)

村社会福祉協議会へ

○神谷三郎さん(湧川七七〇)より父、繁信さん、母、ウトさんの米寿祝いとして十万円。

○与那嶺清子さん(仲尾次三三四)より大正琴教室発表会(チャリティー)の純益金として一万七千円。

○桃原盛一さん(那覇市前島一四一四)より父、惣六郎さんの香典返しとして十万円。

育英会へ

○嘉陽宗信さん(ブラジル在)より人材育成へ五万円。

○嘉陽宗勇さん(真我山二二)より人材育成へ十万円。

※ご芳志ありがとうございました。

## 謝名の操り獅子(アヤーチ)

### 村文化財に指定される

謝名の操り獅子(アヤーチ)の村文化財指定に伴う交付式が十月二十一日、村教育委員会で執行され、大城藤夫教育長より「指定書」がアヤーチ保存会(桃原惣福会長)に交付された。

アヤーチ獅子は、由来や起源は文献もなくよくわかっていないが、古老らの言い伝え

によると三百年の歴史があると言われている。戦前から旧暦の八月十三、十五、十七の豊年祭の最後の演目に獅子が登場、集落の無病息災と五穀豊穡を祈った。

同保存会では、このほど関係者の手で約五十年ぶりにアヤーチ獅子の雌雄二頭を新調、村文化祭でも披露された。

## 村内小・中・高に 図書一式を寄贈

### 今帰仁診療所 石川先生

今帰仁診療所の石川清和先生から「子どもたちに夢を与え、学力向上に役立てて下さい」と村内各学校に図書一式合わせて五十万円相当の寄贈があった。

図書の贈呈式は十月二十八日、村中央公民館研修室に、校長、図書館司書、関係者が出席して行われた。



▲石川先生より図書一式が贈られた

贈呈式で村校長会(玉城清会長)は、「このようにすばらしい本をたくさんいただき、子どもたちもさぞかし感激するでしょう」と話し、また学校教育課(玉城吉信課長)は、「ほんとうにありがたいことで、す今後さらに学校の環境づくりに力を入れていきたい」と語り、深く感謝の意を表わした。

## 戦争で亡くなられた 軍人軍属等のご遺族の皆様へ

平成七年の法律改正で新たに支給されることとなった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」の受付が平成十年三月三十一日終了します。

### ○対象となる方

満州事変以後公務上死亡された戦没者等のご遺族の中に平成七年四月一日において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に、次のご遺族のうち先順位者に特別弔慰金を支給します。

- ①平成七年四月一日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金を受給した方
- ②戦没者等の子
- ③戦没者等と生計を共にしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹(平成七年四月一日において婚姻により姓が変わっている方又は遺族外の人と養子縁組

をされている方を除きます) ④上記③以外の父母、孫、祖母、兄弟姉妹 ⑤上記①から④以外の三親等内の親族(戦没者等の死亡まで引き続き一年以上生計を共にしていた方に限ります)

※平成七年四月一日より受付がはじまり、すでに殆どの方が請求を済まされています。詳細については左記までお問い合わせ下さい。  
今帰仁村役場福祉課  
福祉係 新城  
電話番号 五六一二一〇一(内線四十番)

## 渡久地勝也氏が九州PTA協議会より表彰される

平成九年度九州ブロックPTA協議会が十月十六、十七の両日、大分県で開催され、渡久地勝也氏(前今帰仁小PTA会長)が長年PTA活動に活躍した功績により、みごと功労者表彰に輝いた。

渡久地氏は「これまでの実績が評価されたいへんうれ



▶表彰に和やかな渡久地氏

## 今帰仁村における高齢者の健康と生活に関する調査研究について

今帰仁村と琉球大学医学部保健社会学教室では、当面3年計画で今帰仁村における高齢者の健康と生活に関する長寿総合研究プロジェクトを実施いたします。

お忙しい中恐縮ですが調査へのご協力をお願い致します。  
平成9年12月15日~22日  
村在住の65歳以上の女性  
①骨密度測定 ②体力測定 ③面接の予備調査  
各字公民館又はコミュニティセンター  
日程 対象者 実施場所 問い合わせ先  
日対内 程者容 施場所 問い合先  
今帰仁村役場・保健予防課 担当 石嶺リエ子  
TEL (0980)56-2101

しい。今回の受賞は皆様の協力のおかげです」と話し、喜びをかみしめた。



# 12月/師走

1997年

|    |   |   |
|----|---|---|
| 10 | 水 | ○幼児こぼの教室(土日、祝祭除く毎日)(9:00~17:00 コミセン)<br>○ディナービス(土日、祝祭除く毎日)(9:00~17:00 コミセン)<br>○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)<br>○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン) |
| 11 | 木 | ○歯科相談 (コミセン)<br>○サントピア沖縄今帰仁ウォーク   |
| 12 | 金 |   |
| 13 | 土 | ○健康まつり(14:00~17:00 コミセン・中央公民館)<br>○第4回少年少女ドッジボール大会(ホッケー場)   |
| 14 | 日 | ○健康まつり(10:00~17:00 コミセン・中央公民館)<br>○防犯駅伝大会   |
| 15 | 月 |   |
| 16 | 火 | ○牛セリ(セリ市場)  |
| 17 | 水 | ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)<br>○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)<br>○DPT予防接種(コミセン)  |
| 18 | 木 |   |
| 19 | 金 | ○区長会(14:00~ 一階会議室)  |
| 20 | 土 | ○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)   |
| 21 | 日 |   |
| 22 | 月 |   |
| 23 | 火 | ○天皇誕生日  |
| 24 | 水 | ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)<br>○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)<br>○ディケア ○酒田少年の翼来村(26日)まで  |
| 25 | 木 |   |

|    |   |                 |
|----|---|-----------------|
| 26 | 金 | ○御用納め           |
| 27 | 土 |                 |
| 28 | 日 |                 |
| 29 | 月 | ○役場年末休日         |
| 30 | 火 | ○役場年末休日         |
| 31 | 水 | ○大晦日<br>○役場年末休日 |

# 1月

|   |   |  |
|---|---|--|
| 1 | 木 | ○元旦<br>○役場年始休日   |
| 2 | 金 | ○第20回新春ロードレース(9:00~ 総合運動公園)<br>○役場年始休日   |
| 3 | 土 |  |
| 4 | 日 | ○成人式(14:00~16:00 コミセン)<br>○新年の集い(16:00~ コミセン)<br>○防火デー                         |
| 5 | 月 | ○御用始め  |
| 6 | 火 | ○3学期始業式  |
| 7 | 水 | ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)<br>○リハビリ教室 (13:30~15:30 コミセン)<br>○区長会(14:00~ 一階会議室) |
| 8 | 木 | ○歯科相談(コミセン)  |
| 9 | 金 |  |

この島が、今後さらに繁栄し、本村の観光・文化の拠点として貢献することを期待しやみません。

■年の瀬も押し迫り、いろいろな面にあわただしくなつてまいりましたが皆様はいかがでしたか。今年一番の話題と言えば、古宇利島民が長年心待ちにしてきた古宇利大橋が近々、着工されることです。

■現在、本島との交通は運天港との間にフェリー一日五便が就航し、日常生活を営む上で唯一の交通手段として利用されています。

■私も個人的に古宇利島とは深い関りがあり、島民とともにその喜びを分かち合っているところです。ただ古宇利島もどんどん高齢化が進み、島に残っているのは、ほとんどお年寄りなので、一日も早く夢の大橋を完成させ、みんなが元氣なうちに一緒に渡りたいものです。そして美しい自然と伝統的な文化を有するこの島が、今後さらに繁栄し、本村の観光・文化の拠点として貢献することを期待しやみません。

